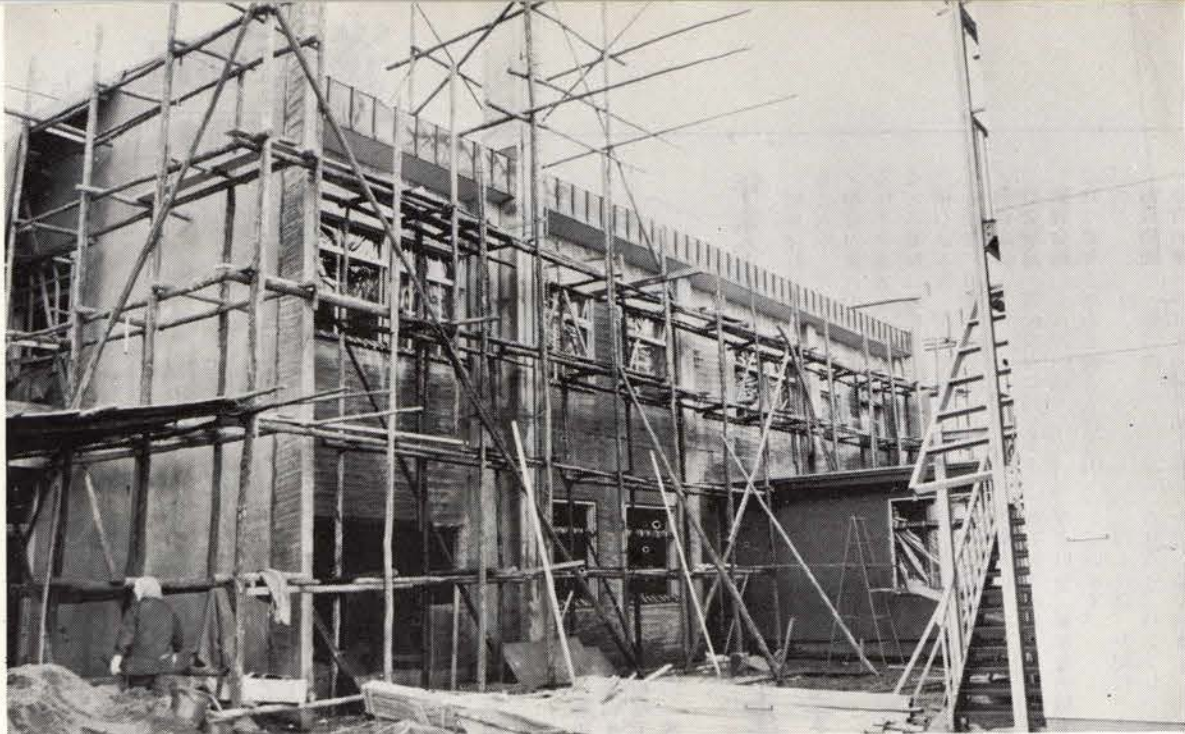


ことしはこんな工事が



③おとしよりや体の不自由な人のための老人福祉センター



④商工港としての整備が進む留萌港、新しく漁業基地としての役割も：完成した東岸船溜り
⑤漁船接岸バースを拡大し、荷揚をしやすく：もうすぐ完成の南岸バース



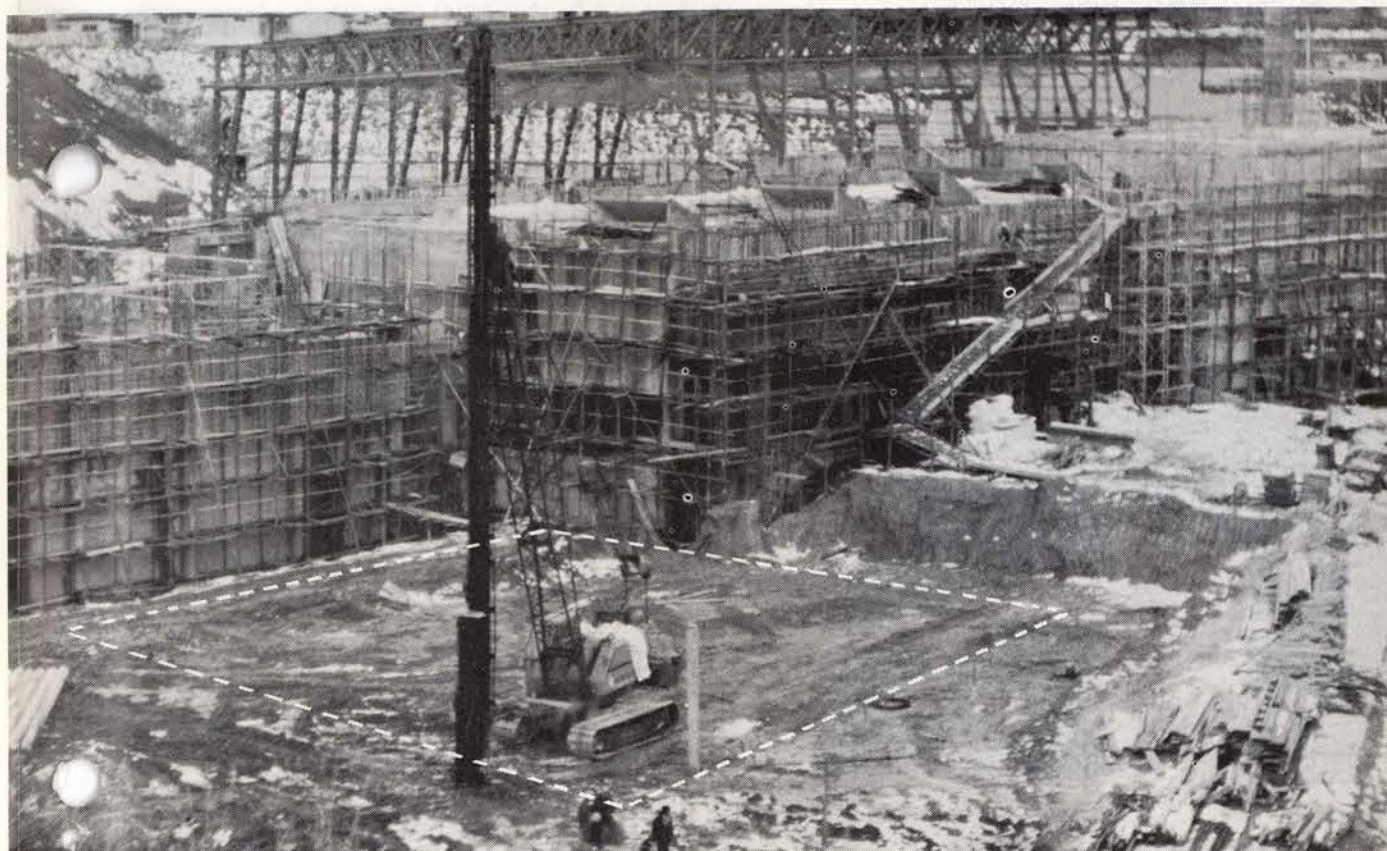
⑥約四万台のダンクコンクリートが土砂を運搬中の古丹浜埋立工事は年内完成を目ざして

■③老人福祉センター・埋め立てが終った副港跡地に、身障の人と老人のための施設が誕生する。
鉄筋コンクリート二階建、総面積六百平方メートル、娯楽室やホールその他、機能回復訓練室などが配置され、十二月下旬の完成が待たれています。

■④東岸船溜り施設 商港としてのかたわら、イカ漁などで留萌を基地とする漁船も増えてきたため、漁港としての機能整備を進めるため、東岸船溜りが完成した。一万七千平方メートルの船溜りに、背後には漁業専用施設が整備される。

■⑤南岸荷揚げバースを拡大 明元町四丁目の岡田商店前から留萌漁協市場前の延長八十メートルの荷揚げバースを七・七メートルに拡張し荷揚をしやすくしたものです。
また、海底をマイナス五メートルに掘込んで大型漁船の接岸がしやすくなりました。

■⑥古丹浜埋立もほぼ完了 輸入木材・鋼材・移入木材などの陸上貯木場として、ことしは三万四千平方メートルを埋め立てたが、昭和六十年には約十平方メートルの古丹浜ふ頭が誕生する。
完成後は、年間六十九万トンの取扱量が見込まれている。
■公住は六十戸が完成 市営住宅は沖見町四と幌糠町を合わせて二十戸、道営住宅は沖見町六に四十戸が完成しました。
■ことしは約四千戸を舗装 市道の舗装は、本・簡易をあわせて約四千戸が舗装されました。
なお他の工事等については、完成の都度お知らせいたします。



①市民文化と体育の殿堂（市民文化センター）の一期工事で全貌を現す（点線の部分に明年から市民センター（オーディー）が建設される）

②第1期工事が完了した港南中学校



港、町の中と私たちの町（留萌）を住みよく暮らしやすい町にするための工事が進められています。そこで、ことし行なわれてきた工事のいくつかを拾って見ることになりました。

■①市民文化センター（仮称）はことしは体育館（スポーツセンター）、中央公民館、教育総合センターの三部門が明年二月下旬には完成の予定ですが、ほぼその全貌を現わしてきました。
残すところは、市民センター（オーディー）部門が明年には完成する予定です。

■②港南中学校の校舎は完成 港南中学校の第一期工事が完了、普通教室六室、校長室、職員室、家庭科教室、図書、美術室などが完成、明年度は、体育館の建設が予定されています。